

AIをうまく活用して

ー金融・不動産業部会を開催ー

7月14日、第240回例会として、(株)PropConsultingの作原英輔氏を講師に「AI×不動産ーAIネイティブ時代における不動産業界の展望ー」と題した講演会を開催しました。

不動産業界において日米を比較し、日本での住宅の取引は大半が新築であることに對して米国は大半が中古であることが述べられました。また日本の不動産ーITのサービス内容が広告中心であるのに対し、米国では内覧から購入までの取引プロセスをプラットフォーム化したものであると説明がありました。

続いて、今まで「その人の頭の中」にしかなかったベテランの経験値をデジタル化して蓄積することで、企業が生き残る時代へと変化していると解説がありました。AIは道具であり、使うのは意思を持った人間であることや、単純作業はAIに任せて価値創造を人間が担うべきであるとして締めくくりました。

参加者は26名

失敗をプラス材料に

ー時事文化講演会を開催ー

7月27日、シンガールの木山裕策氏を講師に「夢が自分を大きくする」と題した時事文化講演会を開催しました。



講演される木山氏

講演後のミニコンサートでは代作曲である『home』をはじめ、心にしみる名曲を歌唱しました。

参加者は62名

経営者への第一歩

ーかがわ創業塾2026を開催ー

7月4日・11日・25日・8月1日の全4回、全国各地で講演・セミナー・コンサルティング活動を行うグローバルマーケティング(株)の代表取締役 今井進太郎氏を中心とした講師陣によるかがわ創業塾を開催しました。

独立開業を目指す方や創業して間もない方などを対象に、創業してから最初に取り組むべき売り上げを伸ばすための考え方やノウハウについて、座学やグループワークを用いて講座が行われました。



今井氏による講座

受講者からは「新ビジネスに対してさらに意欲がわいた」といった声が聞かれました。

受講者は33名

「小規模事業者持続化補助金」の採択結果が発表されました

【当所関係 採択者一覧表】

〈一般型 通常枠〉 第19回 4/30締切

事業所名	補助事業の事業名称
Feather	市場環境の急激な変化に対応するための一次会ニーズの獲得
(株)ロジステック	ドローン空撮×観光アプリ販路開拓事業
(株)ソプラ・クリエーション	Scan to Print 統合型3Dモデリングサービスの構築
(株)イッサエンジニアリング	天井クレーン導入による大型案件受注拡大事業

【お問い合わせ】加古川商工会議所 中小企業相談室 TEL 079-424-3355

女性だより

女性会

女性がさらに活躍する社会に

ー研修会を開催ー

7月14日、7月度事業として「みんなで学ぼうー女性活躍推進セミナーー経営戦略としての女性活躍推進ー」と題した研修会を開催し、男女共同参画センター主催のオンラインセミナーを受講しました。



セミナーを受講する参加者

併せて、県内の中小企業で初めてプラチナミモザ企業に認定された事業所の事例発表も行われました。今後とも会員の皆さまにご参加いただき、学び合える機会を大切にしていきたいと願っております。

参加者は16名
(理事 伊藤 美子)

青年部

自分を見つめ直す

ー7月例会を開催ー

7月15日、7月例会として「とのう時間ー意思決定を変える視点の力ー」を、加古川が誇る国宝・鶴林寺にて開催しました。歴史ある境内や国宝の見学、坐禅体験、そして吉田実盛住職による講話を通じて、参加者一人ひとりが自分自身と向き合う貴重な時間となりました。



住職との集合写真

講話後の質疑応答では、経営や人生について活発な質問が交わされ、住職のお話を通して、多くの参加者が新たな気づきや学びを得る機会となりました。今回の研鑽を今後の経営やYEG活動に生かし、それぞれの成長と地域の発展につなげてまいります。

参加者は52名
(研修委員長 田中 健司)

環境保全研究会

美しい地球を守る

ー環境講演会を開催ー

7月17日、お天気キャスターで気象予報士の依田司氏を講師に「異常気象と向き合うー身近で出来る災害対策ー」と題した環境講演会を開催しました。

今夏は太平洋赤道域の海水温が平年より高く、「スーパーエルニーニョ現象」となることが予想され、さらに強大化することで異常気象リスクが増大する恐れがあると説明がありました。考えうる日本への影響としては災害級猛暑や台風強大化などがあり、複合災害として考えられる渇水や農作物不作などが社会全体に深刻な影響を与える可能性があるとして解説しました。

また、防災で最も重要なこととして「命を守るために逃げるしかない!」と述べ、防災の心理学や正常性バイアス・同調性バイアスを用いて解説がありました。日ごるから気象情報をこまめに確認し、最悪の事態を「意識して」想像して、それを防ぐためにどう行動すべきかを考える必要があるとして締めくくりました。

参加者は77名